



会報シルバー たからづか

第 158 号

令和元年7月15日

編集発行：公益社団法人 宝塚市シルバー人材センター 広報委員会
〒665-0827 宝塚市小浜2丁目1番1号 TEL. 0797(81)7000 FAX. 0797(81)7040



82年前の面影を残す旧松本邸



就業風景

旧松本邸清掃業務

宝塚市桜ヶ丘3-45

旧松本邸は、昭和12年に建築家・川崎忍氏によって設計された洋風住宅です。

今も建築当時の姿を残し、モダンな西洋スタイルの生活を知ることができる貴重な文化遺産として、平成17年に国登録有形文化財に登録されました。

また平成21年には、「ひょうごの近代住宅100選」にも選定されています。

年に2回一般公開されていますが、その際の手清掃業務を担当センターが行っています。

(撮影・広報委員会)

令和元年度定時総会

公益社団法人

宝塚市シルバー人材センター

理事長 古村 宏太郎



本日、令和元年度の公益社団法人宝塚市シルバー人材センター定時総会を開催いたしましたところ、会員の皆さまには、何かと多忙の中このように多数のご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、ご来賓としてお越しいただきました、宝塚市副市長井上様、宝塚市議会議長中野様、阪神北県民局長坂本様には、公務ご多忙のところお繰り合わせのうえ、ご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

ご来賓の皆さまには、平素から、高齢者に就業の機会を提供することに加えて、高齢者の生き方の

充実、地域社会の活性化などを目的とするシルバー人材センターの運営に格段のご理解とご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

我が国は、高齢化が進む中で、地域を支える高齢者の役割が大きくなり、シルバー人材センターへの期待も高まっています。しかし、企業の65歳までの定年延長や雇用確保措置の影響もあり、全シ協会員数は平成21年度に79万人に達した後は減少を続け、ここ数年72万人前後で推移しています。

このため、全シ協では、平成30年度に「第2次会員100万人達成計画」を新たに策定し、会員拡大をシルバー人材センターの最大課題とする取り組みをスタートさせています。

この会員数の減少については、先に述べた国の雇用延長などの外的要因もありますが、シルバー人材センターに魅力を感じないなどの要因もあります。

このため、当センターは、就業機会だけでなく、サークル活動やボ

ランテニアなど様々な活動を実施し、シルバー人材センターの魅力をもっとPRする必要があると考えております。

今後、当センターでは、一層公益性に配慮した事業運営に加えて、地域に密着した事業を推進するため、地区・地域班による活動を始め、少子高齢化の中、引き続き子育て支援や高齢者生活援助サービスなどの拡充を図って参ります。

また、経営面では厳しい状況が続くことが予測されますので、より一層効率的な事業運営に努めて参ります。

◆退任の挨拶

私事ですが、本日の総会の終結をもって理事長の職務を退任させていただきますことになりました。

私は平成12年4月に当センターの事務局長を2年仰せ付かった後、3年半兵シ協に席を置き、そして当センターへ理事長として戻って参りました。

振り返って見ますと、兵シ協では市町村の合併による県下のシルバー人材センターの統合に伴い各地を回ったことは良い経験になり

ました。

今日まで19年間に亘りシルバー人材センター事業に関わり、また当センターでは理事長の重任を努めることができましたのも、会員各位を始め、役職員の皆さまのご協力の賜物と存じ、改めて厚くお礼を申し上げます。

皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます退任のご挨拶とさせていただきます。

◆定時総会次第

5月30日(木)、午後1時より宝塚ホテル「琥珀の間」にて開催され、正会員数900名中、出席会員は133名、委任状545名、計678名が出席し、総会の成立が確認された。

総会は理事長挨拶の後、来賓として宝塚市副市長井上輝俊様、宝塚市議会議長中野正様、兵庫県阪神北県民局長坂本哲也様よりご祝辞をいただいた。

表彰では、永年会員20年および10年表彰、会員特別表彰(ボランティア)と永年役員表彰が行われ、議事に入り報告事項、決議事項等原案通り承認可決された。

ご来賓祝辞

宝塚市

副市長 井上 輝俊



本日は令和元年度宝塚市シルバー人材センターの定時総会がこのように盛大

に開催されますこと、心よりお祝いを申し上げます。就業を通じて高齢者の健康増進あるいは社会参加に大いに寄与されるとともに地域社会の活性化、また福祉の向上にも貢献していただいているシルバー人材センターの活動に深く敬意と感謝を申し上げる次第でございます。また本日表彰されました皆さま、心よりお祝いを申し上げます。

さて、皆さまご承知のとおり我が国は少子高齢化が急速に進展し、労働人口の大幅な減少が見込まれております。このような時代にあ

って高齢者の方々にも生涯現役で社会参加することが求められており、その活躍の場としてシルバー人材センターの役割が今後も益々大きくなるものと考えております。本市といたしましても高齢者の皆さま方の生きがいづくりや就業機会を確保することなどの取組みにより、これからは幅広く社会に参加できるようにシルバー人材センターと共に歩んで参りたいと考えております。

宝塚市にずっと住み続けたいと思ってもらえる素晴らしい街にしていくために、皆さまがこれまで培われてこられました知識・経験を存分に活かし、宝塚を守り育てていただきたくお願いを申し上げます。

最後になりましたが貴センターの更なるご発展と本日ご出席の皆さま方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。簡単ではございますがお祝いの言葉とさせていただきます。

宝塚市

市議会議員 中野 正



宝塚市シルバー人材センターの定時総会がこのように盛大に開催されますことを心からお慶

び申し上げます。また本日表彰を受けられました皆さま、本当日にめでとうございます。

現在、我が国は世界に類を見ない速さで高齢化が進んでおり65歳以上の高齢者は4分の1を超えたと言われております。この様な時代にあつて、宝塚市シルバー人材センターにおかれては、設立以来の長きに亘り高齢者の社会参加の機会を創出し、就業を通じた生きがいづくりの場を提供されるべく全力を注がれ、着実に実績を上げてこられました。これもひとえに歴代理事長を始め、関係者の皆さま方のご努力の賜物と深く敬意を表する次第でございます。

皆さま方におかれましては今後とも益々ご活躍され宝塚市シルバ

ー人材センターが高齢者の生きがいと社会活動の拠点として、より一層充実されるようさらなるご尽力をお願い申し上げます。

当市議会といたしましても健康で安心して暮らせる街づくりに取り組みを進めているところですが、その実現には皆さま方の長年培われた豊かな経験・叡知、技術等を社会に生かして頂く事が不可欠だと考えております。これからも皆さま方が生きがいを持って健康的に過ごされるよう全力を挙げて取り組んで参ります。

最後になりましたが宝塚市シルバー人材センターの益々の発展と会員の皆さま方のご健勝と、ご活躍を心からご祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

兵庫県阪神北県民局

局長 坂本 哲也



本日は令和最初の宝塚市シルバー人材センターの総会がこの

様に盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。平素は県政の推進、とりわけ阪神北県民局の事業推進に格別のご理解をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。また、平素のご活躍に對しまして、本日表彰を受けられた皆さま、本当におめでとうございませう。

昨今、「人生100年時代」と言われております。現在の平均寿命は、男性が約82歳、女性が約87歳となつています。しかし、現在65歳の方の平均余命を見ますと、その平均寿命よりも、更に5歳程は長くなると言われています。本日お集まりの皆さまのように社会参加を通じて元気で活躍されている皆さまですと、もつと元気に過ごされるのではないかと思います。

現在は65歳定年ですが、今後これを国では70歳にしようという計画であります。人生100年時代といたしますと、定年後の人生が約30年余りございます。その間にこれまで培われてきた経験や能力を社会に生かしていただくという意味では、シルバー人材センターのこれからの役割は今後、益々大きくなるものと考えており

ます。

兵庫県では時代の転換期の中、昨年、兵庫の未来を「兵庫2030年の展望」として策定しました。その中で「全員活躍社会」を社会の姿として捉え、これは女性の方、障がい者の方も生き生きと活躍する社会を実現することですが、それと共に生き生きと活躍する高齢者の姿も描かせていただいております。兵庫県でも国と連携しまして昨年から「兵庫生涯現役促進事業」として高齢者就業相談窓口を開設しております。

昨年10月から宝塚市シルバー人材センターにご協力いただいているところですが、半年の相談件数、就業件数はこの阪神北地域が一番多くなつています。

シルバー人材センター事業が生涯現役で地域でご活躍される方の大切な窓口として、今後とも社会の中核を担っていただきたいと考えております。

最後になりましたが宝塚市シルバー人材センターの益々のご発展と皆さまのご健勝を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

新役員就任の挨拶

理事長 木本 丈志



木々の葉が生い茂る季節となりました。

平素は、公益社団法人宝塚市シルバー人材センターに對しまして、関係者皆さまの温かいご理解、ご支援を賜っておりますこと、心よりお礼申し上げます。

「平成」から「令和」へ元号が変わった歴史的な年となりました。我々を取り巻く環境は、地域経済の動向、人口構成、国の法令等により絶えず変化・影響を受けています。

シルバー人材センターは、1970年代から80年代にかけて平均寿命が延びていき、定年後も就業を通じて元気に過ごすという高齢者の福祉政策として生まれしました。しかし、身体・認知機能の若返りに加えて、少子高齢化による生産年齢人口が急速に減少する中で、

社会の担い手として活躍してもらう必要から今後は福祉政策から労働政策に切り替えて行く必要があります。

そのような中、会員の平均年齢は73歳まで高齢化しており、背景には定年制の延長等がありますが高齢者の皆さまが、長い人生経験・技能などを地域のために提供していただくことで、高齢者としての生きがいを見出し、健康寿命の延伸につなげていただくことは、当センターの「健全経営、適正・安全就業」につながります。

これから暑い夏を迎えますが、会員の皆さんにはお身体ご自愛のうへご活躍されることをご祈念申し上げます。

常任理事兼事務局長

村上 淳一



皆さまこんにちは。この度事務局長に就任致しました村上と申します。

前職では宝塚市役所子ども未来部で子ども施策に

長く携わって参りました。今回の就任によりその対象が子どもからシルバー世代へととなり、新たな気持ちで事業に取り組んで参りたいと思っています。

さて地域に密着した仕事を会員の皆さまに提供するシルバー人材センターですが、少子高齢社会が到来しているにも関わらず全国の会員数は2009年の約79万人をピークに2018年3月末現在では約71万人と減傾向にあり、当センターにおいても例外ではありません。

その背景として雇用延長や産業界での人手不足で60歳代後半以降も企業で働く人が増えていることが指摘されており、当センターでも昨年度入会された会員の平均年齢が69・2歳となっています。

シルバー人材センター事業にとつては全国的にも厳しい状況下ではありますが、生活時間と折り合いをつけながら地域で働きたいというシルバー世代のニーズを的確に捉え、また地域サービスの担い手としての皆さまの活躍する場の更なる確保とセンター事業の活性化に向けて事務局職員一同、精一杯取り組んで参ります。皆さまに

おかれましてもご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◆表彰

◎永年会員表彰(20年)



▲永年会員 20 年表彰おめでとうございます

◎永年会員表彰(10年)



▲永年会員 10 年表彰おめでとうございます

◎会員特別表彰(ボランティア)



▲会員特別表彰おめでとうございます

◎永年役員表彰



▲永年役員表彰おめでとうございます

◆新任理事

令和元年度定時総会にて、役員
の選任(理事・監事)が承認され、
総会後の第2回理事会において理
事長、常務理事が選定されました。

(新)・新任 (再)・再任

理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	監事	監事
(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(新)	(再)	(新)
木本 丈志	村上 淳一	在本 茂	丸山 長資	藤後 勝	竹内 英子	仲田 加代子	福永 孝雄	上野 照夫	高屋鋪 純子	井手 義明	山形 静夫	

安全委員会だより

◆高齢者自転車競技大会 準優勝

令和元年5月17日(金)、午後1時30分〜4時、市立末広体育館および中央公民館にて第15回宝塚市交通安全高齢者自転車競技大会が行われた。

当センターからは4名が「シルバー安全チーム」として参加した。平素からの安全意識のもと競技に集中し、準優勝となった。



▲準優勝の白坂会員、平井会員、玉井会員、藤原会員(左より)

◆安全宣言

令和元年6月14日(金)、開催された安全委員会において昨年に引き続き今年も事故ゼロを目指し「安全宣言」を提言した。

安全宣言

私たちは、公益社団法人宝塚市シルバー人材センターの会員として、「安全は全てに優先する」を最重要課題とし、全会員が一丸となつて「事故ゼロ」を目指し、安全就業に努めることをここに宣言します。

一、事故から身を守るために必要な知識・技能を自ら身につけ、絶えず安全意識の高揚に努めます。

一、「安全の確保は自らの責務である」ことを自覚し、安全就業基準の遵守を徹底します。

一、日常の健康管理に十分留意し、健康の増進に努めます。

令和元年六月十四日

公益社団法人宝塚市シルバー人材センター 安全委員会

令和元年度 安全・適正強化月間

7月1日〜31日の1ヶ月間は「安全・適正就業強化月間」です。

「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」の全国統一安全スローガンを常に意識して事故の無いように安全就業に努めましょう。

◎実施目的

我が国においては、少子高齢化が進展し、総人口は、平成30年11月1日現在、1億2645万3千人となり、長期の人口減少過程に入っており、高齢者の労働力としての拡大が強く求められる中、シルバー人材センター事業(以下「シルバー事業」という。)の重要性和シルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものになっている。

このような中であつて、安全就業においては、平成30年度の重篤事故は、就業中・就業途上ともに前年度に比して大幅に増加した平成29年度の46件を更に上回る53件となり、緊急に対策を講ずる状態に陥っている。また、1カ月以上6カ月未満の入院を要した事故(後遺障害の事故を含む。)は、平成29年度に比して若干減少したものの、依然として憂慮すべき状態が続いている。

毎年、巡回パトロール、安全講習会などの安全対策を実施しているにもかかわらず、同様の事故が繰り返し発生していることから、次のページの事項について、会員の皆さまには取り組んでいただくようお願いいたします。

シルバー事業は、高齢者が健康で安心して「働く」ことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としており、このことから日頃から安全・適正就業に対する意識の高揚を維持していくことを願います。

この目的のため、毎年7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、安全・適正就業について、全ての会員が、事故の撲滅と就業形態の適正化を図り、「安全・安心」なシルバー事業の展開を図ることとする。

◎期間中の取り組み事項の概要

- ①安全・適正就業委員会を開催し、「安全・適正就業対策基本計画」の策定および事故の要因分析と具体的な防止策の徹底
- ②重篤事故につながる就業の見直し
- ③ヒヤリ・ハット体験事例を収集し、要因分析、事故防止の徹底
- ④損害賠償責任保険事故の防止
- ⑤就業途上における交通事故の防止
- ⑥安全就業対策の総点検の実施
- ⑦安全適正就業の研修および点検
- ⑧適正就業ガイドラインに沿った業務運営の実施
- ⑨会員からの安全標語の募集、掲示などによる安全意識の徹底
- ⑩会報等への安全意識啓発のための特集記事の掲載
- ⑪会員に対して安全意識啓発および情報の共有化を図るための資料等の配布
- ⑫月間中に「安全意識高揚の日」の設定および安全表彰の実施

●4月～5月の事故内容

令和元年5月末現在

前年度	令和元年度	損害	傷害
2件	1件	1件	1件
0件			

損害

●内容

公園管理業務において、脚立兼用梯子を利用中、使用方法を誤り脚立が転倒した。その際、近くにいた方の頭部に脚立があたり受傷させた。

●注意点

作業前に周囲の安全確認を遵守すると共に、特に脚立等の安全に関わる道具類については、使用方法を熟知のうえで使用すること。

★傷害事故(1件)

傷害

●内容

ポスティング作業中、移

動の為に自転車を使用した際に転倒し、右膝を骨折した。

●注意点

就業中や就業途上で自転車等を使用する際は、年齢による体力の低下も考慮の上で安全運転に努めていただきたい。

講習会報告

◆安全講習会開催

令和元年6月10日(月)、午前10時より、当センター3階大会議室にて、「刈払機の注意点、及び屋外作業の安全確保」をテーマに、有限会社奥田商店取締役萩原啓介氏を講師に迎え、河川美化事業就業会員を対象に実施した。会員3名参加。

◆パソコン教室を開催

令和元年6月19日(水)及び20日(木)の両日、当センター小会議室にて「令和元年度パソコン教室」を開催した。

講師に元勤労市民センターパソコン教室講師の高野学氏をお招きし、90分単位の入替制の講座を計

6回実施。パソコンサークル会員7名によるボランティアのサポートを得て、延べ24名が受講した。

地区・地域班だより

◆良元3の2地域班

甲山親睦ハイキング

令和元年5月7日(火)、午前9時30分から午後5時まで、天候にも恵まれ絶好のハイキング日和になった。阪急仁川駅をスタートし、五ヶ山遺跡から甲山自然の家へ、そして神呪寺、甲山八十八カ所をお参りし森林公園、徳川大阪城探石場跡を見学し仁川駅に戻るコースで大変有意義であった。4名参加。



▲良元3の2地域班の皆さん

◆良元2の2地域班

西公民館周辺清掃ボランティア

令和元年6月7日(金)、午前8時から西公民館周辺のカン、ビン、ペットボトル、タバコの吸い殻等のゴミ拾いボランティアを計画していたが、当日9名の参加者が集まるも、開始直前に雨が降ってきた為、思案の末に清掃ボランティアは中止となった。

事務局だより

◆トライやる・ウィーク

令和元年6月10日(月)、市立教育総合センター3階調理室にて、宝塚市立中学校2年生の授業の一環として行っている「トライやる・ウィーク」(職業体験学習)が実施され、当センターは3校併せて延べ67名の中学生を受け入れ、女性会員5名の指導の下、料理体験学習を行った。

◆会員の状況(5月末現在)

会員数・平均年齢は5月末、入退会者は4月～5月

会 員 数	8 9 5 名
(男性会員数)	6 6 8 名
(女性会員数)	2 2 7 名
入 会 者 数	2 3 名
退 会 者 数	4 8 名
平 均 年 齢	7 3 . 6 歳

配 分 金

支払い日のお知らせ

7月就業分 8月15日(木)
8月就業分 9月13日(金)
9月就業分 10月15日(火)

☆お願い

就業報告書の提出は、就業完了後、または翌月の3日までに提出するようお願いします。

☆チラシ配布就業会員募集

事務局では、チラシなどの配布ができる方を随時募集しています。就業可能な方は事務局に「希望会員アンケート」を備えていますので、事務局窓口までお越しください。

☆清掃業務就業会員募集

清掃業務ができる方を募集しています。就業希望される方は、事務局までお問合わせください。

☆家事援助業務就業会員募集

家事援助業務ができる方を募集しています。就業希望される方は、事務局までお問合わせください。

会員の広場

俳句

過疎の村子供見えずに鯉幟

♡川嶋 兼雄

好きなこと好きなだけして山笑う

♡中嶋 諒子

ゆらゆらと雲のくぼみにシヤボン玉

♡橋本 千津子

風あらば飛び立ちそうな綿毛群れ

♡羽山 淳子

音を編むせせらぎの声夏は来ぬ

♡丸山 長資

春田打つ一代限りの過疎の村

♡安井 修

冬の夜看護の母の寝息さく

♡柳澤 義昭

事務局職員の職務分掌

令和元年 6 月 1 日現在

役 職 名	氏 名	担 当 事 務	担当委員会等
常務理事兼 事務局 長	村上 淳一	統括事務管理	総会、理事会
次 長	後中 優	統括事務管理補佐	総会、理事会
主 査	米谷 慎二	渉外業務統括、職業紹介事業 社会活動サービス	就業適正化委員会
主 査	武内 康彦	庶務業務統括、経理事務	
主 任	筒井 宏明	渉外業務統括補佐、管理群(屋外公共) 一般作業群(屋外公共、機械除草)	事業開拓委員会 安全委員会
職 員	大仲 洋平	管理群(屋内公共、企業) 一般作業群(屋内公共、企業) シルバー派遣事業	広報委員会 安全推進員
職 員	簀田 淳	技能群(植木剪定、大工、塗装) 管理群(企業)、庶務・経理事務	会員互助会
職 員	谷口 京子	庶務・経理事務、伝票入力等	会員互助会
臨時職員	宮原 里佳	技術群(講師、翻訳、縫製等) 一般作業群、サービス群(家事援助) 管理群(屋外管理)	
臨時職員	おおごえ 大峠 一三	一般作業群(手除草)、技能群(畳)	
臨時職員	尾崎 信子	事務群(筆耕、宛名書き、事務) 折衝外交群(店番、検針、配達) 一般作業群(内職)、独自事業	
臨時職員	田村 淳子	子育て支援サービス、一般作業群(企業) ボランティア	
就業機会創出員	中島 征二	就業開拓	
就業機会創出員	船崎 政治	就業開拓	

編集後記

新元号が始まって2ヶ月余り。

生活の各場面でも気持ち少し新しくなった気がします。5月30日には令和になって初めての定時総会が開かれました。永年会員は20年表彰が2名、10年表彰が18名と、全体で昨年より7名も増えました。高齢になっても毎日を元気で頑張っている様子が伺えます。▲2013年に内閣府が発表した「働き続けたい年齢」という調査では、65歳を超えても働きたいという人が約66%、そのうち働ける内は何歳でも、という人は約30%もいます。何歳でも仕事を通じて社会参加をしていく、というのがこれからの高齢化社会の暮らし方なのでしょいか。▲一方で昨年、厚生労働省が発表した「市町村別・男女別の平均寿命ランキング」では、約1700余りの自治体の中で宝塚市の男性が15位に入っています(82・3歳。上位50位まで発表のため女性は不明)。兵庫県が2030年のビジョンとして提唱する「全員活躍社会」を、宝塚市民は率先して実行しているのかもしれない。(広報委員/佐野 純)

シルバー世代の健康管理

—— 熱中症に注意しよう ——

◆エアコンを活用しよう

高齢者は暑さで体力が低下します。エアコンを上手に使っていきましょう。

◆屋外での作業は日陰の活用や帽子を着用しよう

暑い環境に長時間さらされると危険です。特に梅雨が明ける頃は身体が暑さになれていないので要注意。

◆水分・塩分を補給しよう

喉が渇く前にこまめに水分を補給しよう。塩分なども汗で失われるので同時に補給しよう。

◆暑くなる日や湿度が高くなる日は要注意

猛暑日や湿度が高い日は汗の蒸発が妨げられ、体温が上昇しやすくなります。涼しい場所で過ごそう。

◆「おかしい!？」と思ったらすぐ病院へ

めまい、頭痛、吐き気、倦怠感などの症状から熱中症を疑ったらすぐ医療機関に相談しよう。

◆周りの人にも気配りを

外で作業をしているときなど、周りの人の様子などにも気を配りましょう。

日常でお困りのことはシルバー人材センターにご相談ください

高齢者の知識と経験を活かして、様々な仕事をお引き受けしています。依頼内容によっては対応できない仕事もありますので、まずお電話でお問合わせください。TEL 0797(81)7000

- | | |
|--------------|---|
| ・家事援助サービス | 室内清掃、窓ガラス・網戸などの清掃、食事の支度・洗濯、お部屋内の片付けや衣替え、ゴミステーションの掃除、買い物など |
| ・子育て支援サービス | 一般家庭内でのお子様との留守番、イベント会場内でのお子様の一時預かりなど |
| ・お庭の手入れ | 植木剪定・施肥、植木の水やり、雑草刈り(機械・手刈り) |
| ・家屋の手入れ | 簡易な大工仕事・塗装など |
| ・事務サービス | あて名・賞状書き、ワープロなどでの原稿づくり、パソコン操作指導など |
| ・空き地・空き家管理事業 | 空き地・空き家を敷地の外側から現状確認を行い報告するサービス |

シルバー人材センター会員募集 就業などを通じて社会参加しませんか？

シルバー人材センターの会員になるには

◎会員の条件

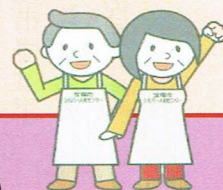
宝塚市在住の60歳以上の健康で働く意欲のある方で、シルバー人材センターの趣旨に賛同していただける方。

◎入会方法

入会説明会は毎月第4月曜日午後1時より開催していますので、事前に予約の上参加してください。

入会申込書・顔写真などの必要書類の提出と、会費(年額2,000円)の納入で会員となります。

*ご興味のある方は、まずはシルバー人材センター事務局までお電話でお問合わせください。



問合せ先：公益社団法人 宝塚市シルバー人材センター

〒665-0827 宝塚市小浜2丁目1番1号 TEL. 0797(81)7000 FAX. 0797(81)7040

<http://www.sjc-takarazuka.or.jp>

宝塚市シルバー人材センター

検索